

# 活動報告書

2024年2月 市川素

少しずつ春の足音が聞こえてきました。もうすぐ養蚕の季節が来ます。

## 今月の主な活動

2月前半に甘楽富岡地区の養蚕農家の集まりである蚕桑研究会で市民桑園の剪定作業を行いました。剪定を行うことで、桑の葉が効率よく育つようになり、春以降の養蚕に使うことができます。蚕桑研究会のメンバーは養蚕歴数十年の大先輩が多数で、いつも助言や叱咤激励をいただきます。現在は引退された方も多く、会員は減ってしまっていますが、大先輩の皆さんといつまでも養蚕が続けられたらいいなあと思います。



2月19日には一ノ宮ピッコロこども園で、繭細工教室に参加してきました。年長さんの皆さんと今年の干支である辰を作りました。おそらく十二支の中でも最難関である辰ですが、四苦八苦しながら皆さん根気強く取り組んでくれました。今回一緒に取り組んだ園児たちはもうすぐ卒園、小学校入学になるとのこと。小学校でもたくさん楽しい思い出ができることを祈っています。



2月はその他、ネギ農家さんで収穫&出荷作業の研修を行いました。大雪が降った日も収穫作業を行ったり、初夏のような暑い日も作業を行ったりと天候に振り回される日々でした。改めて農家というのは大変な仕事なのだなあ実感しました。



○ご紹介

Facebook の富岡市地域おこし協力隊のページでも養蚕日誌として日々の活動を投稿していますので是非ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi>)

(\*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)